

平成31年度 調布市立第五中学校 国語 第1学年 年間指導計画・評価計画

- 1 教科目標 国語の表現と理解の能力を高め、言語感覚を磨き、思考力・想像力を豊かにする。
- 2 評価の観点及びその趣旨
- ①国語への関心・意欲・態度…国語への関心を高め、国語を尊重し、理解・表現に努め、自ら進んでコミュニケーションに励む。
 - ②話す・聞く能力…日常生活にかかわることなどについて話しの構成を考えながら話し、必要に応じて質問しながら共通点や相違点を整理して聞くことができる。
 - ③書く能力…伝えたい事実や事柄について根拠を明確にして自分の考えや気持ちを書くことができる。
 - ④読む能力…文章に表れているものの見方や考え方をとらえ自分のものの見方や考え方を広くすること。
 - ⑤伝統的な言語文化と国語の特質に対する理解、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し語感を磨くこと。
- 3 学年の目標 日常生活に役立つ能力を身につけ、言葉に関する知識を幅広く習得して、ものの見方や考え方を深める。
- 4 指導計画・評価計画表

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	言葉に出会うために			
4月	<p>野原はうたう</p> <p>◎詩の中における語句の意味を的確に捉える。(読(1)ア)</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて関心を持ち、理解を深める。(伝国(1)イ(ア))</p>	4	<p>1 四つの詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。</p> <p>2 速さ、声の強弱、間の取り方、声の高さや調子を変えて音読する。</p> <p>3 学習を振り返る。</p>	<p>【関】 作品の表現に応じて、音読のしかたを工夫しようとしている。</p> <p>【読】 作品の特徴や語句の意味を捉え、自分なりの考えをまとめている。</p> <p>【言】 それぞれの詩で、速度や強弱、音量や抑揚などを工夫している。</p> <p>【評価資料】 ノート、発表など</p>
	<p>声を届ける 書き留める 調べる 続けてみよう (話聞②書②)</p> <p>◎話す速度や音量、調子や間の取り方に気をつけながら、場に合わせて話す。(話聞(1)ウ) (伝国(1)イ(ア))</p> <p>◎日常生活の中からテーマを決めて材料を集め、自分の考えを明確にして書く。(書(1)ア・ウ)</p> <p>◎文章の中の語彙について関心をもつ。(伝国(1)イ(カ))</p>	2	<p>1 自己紹介を行う。 ・自己紹介文を書き、その紹介文を発表する。</p> <p>2 ノートの書き方、工夫の仕方を理解する。</p> <p>3 学校図書館の活用方法や、辞書・インターネットなどの調べ方について確認する。</p> <p>4 学校図書館を活用し、辞書やインターネットなどを使って、身近なテーマについて調べる。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>【関】 話す速度や音量などに気をつけて話そうとしている。</p> <p>【話聞】 聞き手を意識して、話し方に気をつけながら話している。</p> <p>【書】 集めた情報を整理して記録している。</p> <p>【言】 語彙に関心を持ち、わからない語や注意したい語を調べている。</p> <p>【評価資料】 ノート、定期テスト、発表など</p>
	1. 楷書の書き方を確かめよう			
	<p>漢字の筆使い(教科書P10-11)</p> <p>◎漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書くことができる。[伝国(2)ア、(1)ウ(イ)]</p>	毛筆 2	<p>1 漢字を構成する点画の名称を教科書に書き込む。</p> <p>2 漢字の筆使いのポイントを教科書に書き込む。</p> <p>3 「学習の窓」を見て、漢字の筆使いのポイントを確かめる。</p> <p>4 漢字の筆使いを意識して、毛筆で「地球」を書く。</p> <p>5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「地球」「探究」「現代」を書く。</p>	<p>【関】 漢字の点画の種類や筆使いのポイントを主体的に考えている。</p> <p>【知】 漢字の点画の種類と筆使いのポイントを理解している。</p> <p>【技】 漢字の点画の種類と筆使いのポイントを意識して書いている。</p> <p>【評価資料】 作品など</p>
	1 学びをひらく			
5月	<p>花曇りの向こう</p> <p>◎場面の展開や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。(読(1)ウ)</p> <p>◎作品の展開に注意して、登場人物の気持ちの変化を捉え、題名に込められた意味を考える。(読(1)エ)</p> <p>◎作品の中における語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。(読(1)ア)</p>	4	<p>1 作品を四つの場面に分け、それぞれの時・場所・登場人物を確認する。</p> <p>2 「僕」の気持ちが変わる様子や行動、会話を押さえ、そこに表現された気持ちを考える。</p> <p>3 冒頭と結末の場面を比べ、「僕」の気持ちの変化が表現されている風景や物を考える。</p> <p>4 「僕」の気持ちの変化を整理し、作品の題名に込められた意味を考える。</p> <p>5 「僕」のものの見方や感じ方などで共感できるところがないか話し合う。</p> <p>6 学習を振り返る。</p>	<p>【関】 作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。</p> <p>【読】 情景描写に着目し、登場人物の変化を捉えている。</p> <p>【言】 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>【評価資料】 ノート、定期テストなど</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く ◎身近な生活の中から、伝える目的や相手を明確にして情報を集める。(書(1)ア) ◎説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。(書(1)イ)</p>	5	1 伝える目的や相手を決め、「お気に入りの場所」を紹介する文章を書くことを確認する。 2 身近な場所、思い出の場所などから、説明する題材とその情報を集める。 3 書く観点を決め、情報を整理する。 4 わかりやすく伝えるための構成を考え、短い文や言葉でメモを書く。 5 構成メモを基に400字程度で書く。 6 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。	【関】題材を適切に選択してまとめ、相手にわかりやすく伝える文章を書こうとしている。 【書】身近な生活の中から目的や相手に応じた情報を集め、観点を決めて整理してわかりやすい文章を書いている。 【言】「お気に入りの場所」のよさを表す言葉を用いて、読み手が具体的にイメージできるように書いている。 【評価資料】ノート、定期テストなど
	<p>練習 情報を的確に聞き取る 1時間 ◎情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモに取る。(話聞(1)エ)(伝国(1)イ(イ))</p>	1	1 話を聞くとき、要点を押さえてメモを取ることの重要性を理解する。 2 教科書を閉じた状態で「先生からの連絡」を聞き、メモを取る。 3 メモの取り方について話し合う。 4 「放送委員長からの連絡」を聞き、自分が放送委員になったつもりで、必要な情報を聞き取る。 5 メモの取り方や、その意義について確認する。	【関】メモの重要性を理解し、積極的にメモを取る練習をしようとしている。 【話聞】情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモをしている。 【言】話の文脈の中で、語句の意味を的確に捉えている。 【評価資料】ノート、定期テストなど
	<p>漢字 1 漢字の組み立てと部首 ◎漢字の組み立てと部首を理解する。(伝国(1)ウ(ア))</p>	2	1 教科書のイラストを基に、漢字の組み立てを考える。 2 偏旁冠脚と部首の種類を理解する。 3 漢和辞典を利用して練習問題を解く。	【関】漢字の組み立てに関心を持ち、部首を基に既習の漢字を調べようとしている。 【言】p42例の漢字を基に、漢字の組み立てと部首について理解し、既習の漢字を調べている。 【評価資料】ノート、定期テストなど
	<p>漢字の字形 (教科書P12-13) ◎漢字の字形の整え方を確かめて書くことができる。[伝国(2)ア, (1)ウ(イ)]</p>	硬筆 1	1 硬筆で「青葉」の試し書きをする。 2 字形を整えて書くポイントを教科書に書き込む。 3 字形を整えて書くポイントを意識して、硬筆で「青葉」のまとめ書きをする。 4 試し書きとまとめ書きを比較し、字形を整えるという観点で向上した点を確認する。 5 「学習の窓」を見て、漢字の字形を整えて書くためのポイントを確かめる。 6 字形を整えて書くポイントを意識して、教科書P13上段の漢字を硬筆で書き込む。 7 教科書P13下段の漢字の部分の筆順を確かめ、硬筆で書き込む。	【関】漢字の字形を整えて書くポイントを主体的に見つけようとしている。 【知】漢字の字形を整えて書くポイントを理解している。 【技】文字の外形と中心、点画や部分の組み立て方を意識して漢字を書いている。 【評価資料】ノート、定期テストなど
	<p>2 新しい視点へ</p>			
6月	<p>ダイコンは大きな根? ◎段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。(読(1)イ) ◎筆者の説明のしかたの工夫について考える。(読(1)エ) ◎身近なものについて説明された文章を読み、文章の中で使われている言葉の意味や内容を捉える。(読(1)ア)</p>	3	1 作品を通読し、初めて知ったことをノートにまとめる。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 2 各段落の中心となる内容を20字程度でまとめる。 3 「問い」を投げかけている段落と、それに対する「答え」を示している段落を探す。また、それ以外の段落がどのような役割をもっているのか考える。 4 筆者は、わかりやすく説明するためにどのような工夫をしているか、考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。	【関】身近な「野菜」について書かれた文章に関心を持ち、段落ごとの内容をまとめようとしている。 【読】それぞれの段落の中心となる内容を要約している。 【言】段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。 【評価資料】ノート、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>ちょっと立ち止まって</p> <p>◎文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。(読(1)イ・エ)(伝国(1)イ(エ))</p> <p>◎筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げる。(読(1)オ)</p> <p>◎文脈における語句の意味を的確に捉える。(読(1)ア)</p>	4	<p>1 図との対応に注意しながら、全文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が図を基に挙げている事例について確認する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>2 本文を三つのまとまりに分け、それぞれのまとまりの内容を捉える。</p> <p>3 本論を幾つかに分け、筆者の説明を理解する。また、三つのまとまりをそれぞれ要約する。</p> <p>4 文章全体を通して、筆者の主張を捉える。</p> <p>5 日常生活の中で筆者の主張を生かせる場面がないか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で考えを発表し合い、自分の考えを広げる。 <p>6 学習を振り返る。</p>	<p>【関】図を使って説明された文章に興味を持ち、文章と図を対応させて読もうとしている。</p> <p>【読】筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解している。 <p>【言】指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。</p> <p>【評価資料】ノート、定期テストなど</p>
	<p>練習 記録のしかたを工夫する</p> <p>◎集めた情報を分類するなどして整理し、記録のしかたを工夫する。(書(1)イ)</p>	1	<p>1 「記録の例」を見て、内容や書き方について、どのような工夫がされているか話し合う。</p> <p>2 「記録の例」、「上達のポイント」を参考にして、一つ前の授業を振り返り、休んだ人に学習内容を伝える目的で記録を書く。</p>	<p>【関】「記録の例」を見て、工夫されている点について考えようとしている。</p> <p>【書】見たり、聞いたりした内容を分類し、整理して記録している。</p> <p>【言】情報を整理する言葉などを用いて、読み手に伝わりやすい表現方法を取り入れている。</p> <p>【評価資料】ノート、定期テストなど</p>
	<p>「好きなもの」を紹介しようスピーチをする</p> <p>◎話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、相手の反応を踏まえながら紹介する。(話聞(1)イ)</p> <p>◎声の大きさや話す速さなど、話し方を意識して聞き手にわかりやすい紹介をする。(話聞(1)ウ)(伝国(1)イ(フ))</p>	4	<p>1 p57「『好きなもの』の例」を参考に友達に紹介する話題を決める。</p> <p>2 話題を踏まえて、紹介する内容を決める。</p> <p>3 p57「将棋を話題にしたスピーチメモの例」を参考に、スピーチメモを作る。</p> <p>4 友達とスピーチの練習をする。</p> <p>5 スピーチの会を開く。</p> <p>6 感想を伝え合う。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<p>【関】p59「スピーチの例」を参考にして、1分以内で自分が伝えたいことをスピーチにしようとしている。</p> <p>【話聞】「スピーチの例」の構成を基に、自分の思いや考えを、聞き手に伝わるように話している。</p> <p>【言】相手が聞き取りやすいように話す速さや声の大きさなどを工夫している。</p> <p>【評価資料】ノート、発表など</p>
	<p>情報の集め方を知ろう</p> <p>情報コラム①</p> <p>本から情報を集める</p> <p>情報コラム②</p> <p>インターネットを利用する</p> <p>情報コラム③</p> <p>新聞の紙面構成の特徴を知る</p>	2	<p>1 導入の例を参考にし、どのような情報の集め方があるのか考える。</p> <p>2 「〇〇市の花火大会について」など、テーマを決めて、本から情報を集める。</p> <p>3 テーマについて、インターネットを利用して調べる。</p> <p>4 新聞の紙面構成の特徴を理解する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>【関】自分が設定したテーマについて、さまざまな方法を用いて調べようとしている。</p> <p>【読】本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択している。</p> <p>【言】本やインターネット、新聞における事象や行為などを表す多様な語句について理解している。</p> <p>【評価資料】ノートなど</p>
	<p>言葉 1</p> <p>話し言葉と書き言葉</p> <p>◎話し言葉と書き言葉の違いについて考え、それぞれの特徴について理解する。(2年伝国(1)イ(フ))</p>	2	<p>1 導入の例文から、話し言葉と書き言葉の違いについて考える。</p> <p>2 音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同音異義語の伝え方を理解する。 ・漢字、仮名、常体・敬体の使い方に注意する。 	<p>【関】例文を比較して、話し言葉と書き言葉の特徴を理解しようとしている。</p> <p>【言】話し言葉と書き言葉について、それぞれの表現上の特質を理解している。</p> <p>【評価資料】ノート、定期テストなど</p>
	<p>3 言葉をつなぐ</p>			
7月	<p>詩の世界</p> <p>◎詩を読んで、語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。(読(1)ア)</p> <p>◎詩の表現の特徴を捉えて読み、描かれた情景を想像する。(読(1)エ)</p>	2	<p>1 導入の文章を読み、詩に込められた作者の思いなどを知る。</p> <p>2 「てがみ」「太陽」「魚と空」を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>3 詩の表現技法を理解する。</p> <p>4 3編から一つ詩を選び、情景を思い描きながら朗読する。</p>	<p>【関】興味や関心をもって、詩を読もうとしている。</p> <p>【読】詩の表現から作者の思いに触れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の情景を想像しながら朗読している。 <p>【言】3編の詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。</p> <p>【評価資料】ノート、定期テストなど</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	言葉を集めよう ◎観点を基に、多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした紹介文を書く。(書(1)ア)	1	1 導入の例文を読み、的確に伝えるために、さまざまな言葉の意味を知り、文脈に合う適切な言葉を見つけ出す必要があることを理解する。 2 食べ物を一つ決め、観点を立てて言葉を集める。 3 例文を参考に100字程度で、自分の好きな食べ物について紹介文を書く。	【関】 日常生活の中から観点を基に多くの言葉を集めようとしている。 【書】 例文の観点を参考にして、多くの言葉を集めて、好きな食べ物についての紹介文を書いている。 【言】 紹介文を書くために、観点に沿った意味の言葉を多く集めている。 【評価資料】 ノートなど
	空を見上げて ◎言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉について考えを深める。(読(1)ア) ◎文章の構成や表現の特徴について、自分の考えをもつ。(読(1)エ)	2	1 作品を通読し、文章の構成を理解する。 2 「五・七・五」の句に込められた思いや内容を読み取る。(学習1) 3 「みあげれば——」の句に、下の句をつける。(学習2-1) 4 人の心を動かす言葉について考える。(学習2-2) ・自分の考えを発表し、学級で共有する。	【関】 言葉のもつ力について考えをもとうとしている。 【読】 「五・七・五」や下の句を読み取り、内容を理解している。 ・筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げている。 ・作者の考えを踏まえて、人の心を動かす言葉について考えをまとめている。 【言】 語句の文脈上における意味を理解し、言語感覚を磨いている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう ◎言葉の単位とその働きについて理解する。(2年伝国(1)イ(ウ))	2	1 導入の例文を読み、言葉の区切りについて考える。 ・例文を音読し、間を取った箇所を確認する。 2 p240文法1「言葉の単位」を読み、言葉の単位とそれぞれの性質を理解する。	【関】 言葉の決まりについて関心を持ち、言葉の単位とその働きを理解しようとしている。 【言】 文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて整理した内容を理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	読書生活を豊かに 光る地平線 私が選んだこの一冊 読書案内 読書コラム 本との出会い ◎本から情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取る。(読(1)カ) ◎作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くする。(読(1)オ)	3	1 本や文章を読み、必要に応じて引用して紹介する学習活動について理解する。 2 「光る地平線」を、後で読書紹介することを意識して読む。 3 「私が選んだこの一冊」を読み、ポップや紹介箱などを用いて、読んだ本について紹介する方法を理解する。 4 これまでに読んだ本の中から一冊を選び、引用する部分を考えて、ポップ・紹介箱・スピーチのいずれかの方法で紹介する。 5 作成したポップ・紹介箱を展示したり、スピーチを行ったりして、感想カードなどで友達と感想を交流する。 6 学習を振り返る。	【関】 作品に書かれているものの見方や考え方に興味を持ち、読書紹介に生かそうとしている。 【読】 紹介することを意識して作品を読んでいる。 ・作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くしている。 【言】 伝えたい内容に合った言葉や表現を的確に抜き出し、効果的に表現している。 【評価材料】 ワークシート、発表など
	楷書と仮名のまとめ (教科書P18-19) ◎これまでに学習したことを生かして、楷書と平仮名で文章を書くことができる。[(2)ア, 伝国(1)ウ(7)(イ)]	硬筆 1	1 これまでに学習したこと(楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／文字の大きさと配列)を意識して、硬筆で「海鳥がいる。……」の試し書きをする。 2 試し書きと教材文字を比較し、これまでに学習したことを意識して書くことができたら振り返る。 3 横書きの書き方と、速く書くときの「許容される書き方」、片仮名の筆使いを確かめる。 4 これまでに学習したことと横書きの書き方、片仮名の筆使いを意識して、「シダ植物の特徴」を硬筆で書く。	【関】 これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。 【知】 楷書の筆使いと字形、平仮名の筆使いと字形、文字の大きさと配列のポイントを理解している。 【知】 横書きの書き方を理解している。 【知】 速く書くときの「許容される書き方」と片仮名の筆使いを理解している。 【技】 楷書の筆使いと字形、平仮名の筆使いと字形、文字の大きさと配列を意識して文章を書いている。 【評価材料】 作品

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	4 つながりの中で			
9月	星の花が降るころに ◎文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。(読(1)ア)(伝国(1)イ(4)) ◎登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に着目して読み、自分の考えをもつ。(読(1)ウ・エ)	5	1 作品を通読し、印象に残った表現を抜き出して発表する。 2 場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化とその理由を整理する。 3 情景描写と「私」の気持ちとの関係を考える。 ・「雪が降るように」など、様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをととえているのか考える。 4 登場人物の気持ちを想像して、この後の作品の続きを考える。 ・書いたものをグループや班で交流する。 5 学習を振り返る。	【関】 作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。 【読】 情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉えている。 ・場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化と理由について考えている。 ・「私」「戸部君」「夏美」などの登場人物の心情を押さえ、この後の作品の続きを考えている。 【言】 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	大人になれなかった弟たちに… ◎登場人物の行動や情景描写などに着目し、心情を読み取る。(読(1)ウ) ◎表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方や感じ方を見つめ直す。(読(1)オ)(伝国イ(4))	5	1 作品を通読し、どのような時代の作品かを大きく捉える。 2 「母」が食べ物をあまり食べなかったり、「僕」が「ヒロユキ」のミルクを盗み飲みしてしまった理由を考える。 3 作品の描写を読み取り、登場人物の気持ちを考える。 4 作品に描かれた時代を考えながら、「大人になれなかった弟たちに……」という題名のもつ意味について話し合う。 5 学習を振り返る。	【関】 時代背景や人物の描写に関心をもって読もうとしている。 【読】 情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。 ・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方を広げている。 【言】 繰り返し表現や「……」などの表現が、効果的に使われていることを理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	練習 わかりやすい案内文を書く ◎わかりやすく伝えるために、書いた文章の内容を整理し、案内文を工夫して書く。(書(1)エ)	1	1 案内文の書き方について確認する。 2 教材の「案内文の下書き④」を、わかりやすく案内する方法を考えて、書き改める。 3 教材の「案内文の下書き」と同様の内容を、小学校6年生に出す場合で書く。	【関】 事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。 【書】 教材の「案内文の下書き」を基に、項目ごとに整理し、読み手を意識してわかりやすい案内文を書いている。 【言】 わかりやすい言葉や慣用表現を適切に用いている。 【評価資料】 作品など
9月	シカの「落ち穂拾い」 ——フィールドノートの記録から ◎示されている事実と、筆者の考えとの関係を読み取る。(読(1)イ) ◎筆者の考えの述べ方や、図表の役割と効果を考える。(読(1)エ)	5	1 グラフや表に注意しながら、全文を通読する。 2 筆者がどのような事実に興味をもって、調査を始めたのかを確認する。 3 筆者は観察で得たどのような事実をもとに、どのような仮説を立てたのかを理解する。 4 筆者が上げた二つの仮説は、どのような事実によって検証されたか確認する。 5 仮説の検証を通じて、筆者はどのようなことを知り、どのような課題をもったのか確認する。 6 小見出しや図表の役割と効果について考える。 7 筆者の考察の導き出し方について、わかりやすく感じたところや気づいたことについて意見を述べ合う。 8 学習を振り返る。	【関】 動物の生態など内容に興味をもって読もうとしている。 【読】 図表に着目しながら文章を読み、論理の展開を理解している。 ・事実と意見を読み分け、文章の要旨を捉えている。 ・文章の構成や表現の特徴、小見出しの効果について理解し、自分の考えをまとめている。 【言】 箇条書きや小見出しに着目して読み、その効果について考えている 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	3. 行書の書き方を学ぼう			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	行書の特徴 (教科書P22-25) ◎行書の特徴を知り、筆使いを理解して書くことができる。 [伝国(2)イ, A(1)オ(2)イ]	毛筆 2	1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2 楷書と行書で書かれた「緑」を指でなぞり、筆使いの違いを感じ取る。 3 「学習の窓」を見て、行書の特徴を確かめる。 4 楷書と行書の「横画」を毛筆で書き、筆使いの違いを理解する。 5 行書の特徴を意識して、硬筆の「緑」をなぞり書きする。	【関】 楷書と比較し、行書の特徴を主体的に見つけようとしている。 【知】 楷書との比較をもとに、行書の主な特徴と筆使いを理解している。 【技】 滑らかな筆使いを意識して行書の「横画」を書いている。 【評価材料】 作品など
10月	調べたことを報告しよう レポートにまとめる ◎課題に合わせて、集めた材料を整理する。(書(1)ア・イ) ◎調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。(書(1)エ)	4	1 教材文を読み、レポートの形式に沿ってまとめる方法について理解する。 2 報告する課題を決める。 3 調査して材料を集める。 4 集めた材料を整理する。 5 レポートの構成を確認する。 6 レポートの構成に沿って、文章にまとめる。 7 レポートを読み合っ、意見を交換する。 8 学習を振り返る。	【関】 日常生活を振り返って話題を探し、構成を考えてレポートを作成しようとしている。 【書】 教科書の例を参考にして、調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書いている。 【言】 情報的的確に伝える表現や構成に気づき、自分のレポートに取り入れている。 【評価資料】 ノート、発表など
	漢字 2 漢字の音訓 ◎漢字の音と訓について理解する。(伝国(1)ウ(7))	1	1 導入の例を基に漢字には「音」と「訓」があることを理解する。 2 「音」「訓」の歴史や性質を理解する。 3 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の音・訓を調べ、短い文を作る。	【関】 漢字の音・訓に関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。 【言】 例の漢字を基に、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字においても音・訓について調べ、語彙を広げている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	言葉 2 指示する語句と接続する語句 ◎指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解する。(伝国(1)イ(1))	2	1 導入の例文から、指示する語句と接続する語句がどのように使われているかを確認する。 2 指示する語句(「こそあど言葉」)の働きを教科書の表を基に整理して理解する。 3 接続する語句の働きの種類を教科書の表を基に整理して理解する。 4 p137「読むことに生かす」を読み、指示する語句と接続する語句に着目することで、文章の展開や構成をつかむ手がかりになることを理解する。	【関】 指示する語句と接続する語句の文章中での働きを理解しようとしている。 【言】 指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
5 いにしえの心に触れる				
	音読を楽しもう いろは歌 ◎仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。(伝国(1)ア(7))	1	1 「いろは歌」を仮名遣いに注意して音読する。	【関】 「いろは歌」を読み、言葉のリズムに親しもうとしている。 【読】 「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に内容に親しんでいる。 【言】 「いろは歌」の言葉の調子や間の取り方などを考えて音読している。 【評価材料】 ノート、定期テスト、発表など
	月に思う ◎月を題材にした随筆を読み、古典には、さまざまな種類の作品があることを知る。(伝国(1)ア(7)(4)) ◎文章に表れているものの見方や考え方を捉える。(読(1)オ)	1	1 全文を通読し、古典が現代まで読み継がれてきたことを知る。 2 月を題材にした百人一首の歌を探して音読し、古典特有のリズムを味わう。	【関】 本文を読み、古典の世界に関心をもとうとしている。 【読】 昔の人の季節の感じ方を捉えている。 【言】 歴史的仮名遣いの言葉を正しく読み、現代語訳を参照して文語の意味を捉えている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	蓬萊の玉の枝 ―「竹取物語」から ◎語句に注意しながら、現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認、古典の文章の表現の特徴を知る。(読(1)ア・エ) ◎仮名遣いに注意し、古典のリズムを味わいながら音読し、古典の文章に読み慣れる。(伝国(1)ア(ア))	6	1 全文を通読する。 2 現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認しながら物語の展開を楽しむ。 3 物語に登場する人々の思いや行動について、現代の自分たちの考えや行動と比較し、感じたことや考えたことを発表する。 4 学習を振り返る。	【関】 古典の文章を、興味・関心をもって繰り返し音読しようとしている。 【読】 現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えている。 【言】 仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。 【評価材料】 ノート、定期テスト、発表など
	点画の方向や形の変化 (教科書P26-27) ◎行書の特徴である点画の方向や形の変化を理解して書くことができる。[伝国(2)イ、(1)ウ(イ)]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「木立」を比較して、点画の方向や形の違いを見つけ、話し合う。 2 行書で書かれた「木立」の点線をなぞり、点画の方向や形が楷書と異なる理由を話し合う。 3 「木」「立」を構成する点画の方向や形の変化を確認し、同じ点画を含む他の漢字を硬筆でなぞる。 4 「学習の窓」を見て、点画の方向や形が変化する理由と、主な変化のしかたを確認する。 5 点画の方向や形の変化を意識して、毛筆で「木立」を書く。 6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「木立」「天文」「水分」を書く。	【関】 楷書と比較し、点画の方向や形の違いを主体的に見つけ、その理由を考えようとしている。 【知】 点画の方向や形が変化する理由と、主な変化のしかたを理解している。 【技】 筆脈を意識し、点画の方向や形の変化に注意して行書を書いている。 【評価材料】 作品など
11月	今に生きる言葉 ◎故事成語の由来と意味を理解する。(読(1)ア) ◎「矛盾」の書き下し文を音読し、漢文独特の言い回しに読み慣れる。(読(1)エ)(伝国(1)ア(ア)(イ)) ◎自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書く。(書(1)ウ)	2	1 教材文を読み、故事成語について理解する。 2 「矛盾」の文章を読む。 3 「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の言葉の意味や故事を調べる。 4 調べた故事成語を使って自分の体験について短い文章を書く。 5 学習を振り返る。	【関】 故事成語の意味や由来に関心をもち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。 【読】 現代語訳を参考にして、故事成語の由来と意味を理解している。 【書】 調べた故事成語の中から、自分の体験に関連するものを選び、体験文を書いている。 【言】 例示されている故事成語の由来と意味を理解している。 ・漢文独特の言い回しに注意して音読している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
6 論点を捉えて				
	幻の魚は生きていた ◎文章の中心的な部分を読み取り、要旨を捉える。(読(1)イ) ◎文章に表れている考え方を捉え、自分の見方や考え方を広げる。(読(1)オ) ◎筆者の主張に対する自分の考えを、具体的な根拠を挙げて書く。(書(1)ウ)	5	1 教材文を読み、序論・本論・結論に分ける。 2 序論の中心となる文に着目し、本論との関係について確認する。 3 結論として筆者の考えがどのように書かれているか読み取る。(学習2-3) 4 文章の要旨をまとめる。 5 筆者の主張に対する自分の考えをノートに書く。 6 グループでノートを回覧し、コメントを添える。 7 学習を振り返る。	【関】 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとしている。 【読】 文章の要旨を捉えている。 ・学習を通じて自分の見方や考え方を広げている。 【書】 具体的な根拠を挙げて、自分の考え(共感・納得、疑問・反論)を書いている。 【言】 環境や生物に関する言葉の意味を理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	練習 流れを踏まえて話し合う ◎話題や方向を捉えて話し合い、自分の考えをまとめる。(話聞(1)オ)	1	1 教材文を読み、流れを踏まえた話し合いについて学ぶ。 2 「話し合いの例」を使って、班ごとにロールプレイングを行う。 3 空欄に当てはまる言葉にはどんなものがあるか検討する。	【関】 話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをまとめようとしている。 【話聞】 話し合いの話題や方向を捉えて、適切な発言をしている。 【評価材料】 ノートなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする</p> <p>◎日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集める。(話聞(1)ア)</p> <p>◎話し合いの話題や方向を捉えて、相手の反応を踏まえて話したり自分の考えをまとめたりする。(話聞(1)イ・オ)</p>	5	<ol style="list-style-type: none"> 1 教材文を読み、話題や方向を捉えた話し合いについて学ぶ。 2 話題に対する自分の考えをノートにまとめる。 3 話題ごとに小グループを作り、グループ・ディスカッションを行う。 4 話し合いの結果を報告し合う。 5 学習を振り返る。 	<p>【関】話し合い積極的に参加し、発言したり、他者の発言に耳を傾けたりしている。</p> <p>【話聞】・日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集めている。</p> <p>・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめたりしている。</p> <p>【評価材料】ノート、発表など</p>
	<p>点画の連続 (教科書P28-29)</p> <p>◎行書の特徴である点画の連続を理解して書くことができる。[伝国(2)イ, (1)ウ(イ)]</p>	毛筆 3	<ol style="list-style-type: none"> 1 楷書と行書で書かれた「月光」を比較して、点画が連続している部分を見つけ、話し合う。 2 連続させるときの留意点を確認する。 3 「月」「光」に見られる点画の連続を確認し、同じ種類の連続を含む他の漢字を硬筆でなぞる。 4 「学習の窓」を見て、点画が連続する理由と、主な連続のしかたを確認する。 5 点画の連続を意識して、毛筆で「月光」を書く。 6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「月光」「文庫」「規則」を書く。 	<p>【関】楷書と比較し、点画が連続している部分を主体的に見つけようとしている。</p> <p>【知】点画が連続する理由と、主な連続のしかたを理解している。</p> <p>【技】筆脈を意識し、点画の連続のしかたに注意して行書を書いている。</p> <p>【評価材料】作品など</p>
12月	<p>練習 感じたことを整理する</p> <p>◎感じたことや読み取ったことを、観点を立てて整理する。(書(1)イ・ウ)</p>	1	<ol style="list-style-type: none"> 1 教材文を読み、示された絵から感じたことなどを付箋に書き出す。 2 書き出した付箋を観点別に整理する。 3 書き出した具体的な特徴が、鑑賞文を書く際に自分の考えの根拠となることを確認する。 	<p>【関】絵の特徴や感じたことなどを複数の付箋に書き出している。</p> <p>【書】絵から感じたことや読み取ったことを観点別に整理できている。</p> <p>【評価材料】ノートなど</p>
	<p>根拠を明確にして魅力を伝えよう</p> <p>鑑賞文を書く</p> <p>◎作品を鑑賞し、その魅力を根拠を明確にして文章を書く。(書(1)ウ・エ)(伝国(1)イ(ウ))</p>	4	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の好きな作品を選び、その魅力を一文で表現する。 2 作品から感じることや読み取れる特徴を付箋に書き出し、観点別に整理する。 3 観点ごとに自分が感じた魅力の根拠となる具体的な特徴をまとめる。 4 鑑賞文を書く。 5 書いた鑑賞文を読み合い、互いの見方や感じ方、表現のしかたの違いについて話し合う。 6 学習を振り返る。 	<p>【関】好きな作品を選び、その魅力を表現しようとしている。</p> <p>【書】根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書いている。</p> <p>【言】読み手に伝わるような鑑賞文にするために、印象や感動を表す言葉を探し、書いている。</p> <p>【評価材料】ノート、発表など</p>
	<p>竹</p> <p>◎表現の特徴について、自分の考えをもつ。(読(1)エ)</p>	1	<ol style="list-style-type: none"> 1 表現の特徴を捉え、リズムを楽しみながら繰り返し音読する。 2 音読して抱いたイメージや表現の特徴などについて考える。 3 学習を振り返る。 	<p>【関】作品の表現のしかたに関心をもち、進んで音読の練習に取り組もうとしている。</p> <p>【読】表現の特徴や効果について、自分なりの考えをまとめている。</p> <p>【言】表現の特徴に着目しながら早さや間の取り方などを工夫して音読している。</p> <p>【評価材料】ノートなど</p>
	<p>文法への扉2</p> <p>言葉の関係を考えよう</p> <p>◎文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。(2年伝国(1)イ(ウ))</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 1 例文を音読し、正しく伝えるためには、文節どうしの関係(主・述の関係など)を捉えることが大切なことに気づく。 2 p244文法2「文の組み立て」を読み、文節の役割を知り、文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。 	<p>【関】文の決まりに関心をもち、文節どうしの関係などについて理解しようとしている。</p> <p>【言】文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて整理した内容を理解している。</p> <p>【評価資料】ノート、定期テストなど</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	読書に親しむ			
12月	桜守三代 読書案内 ◎文章に表れている考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くする。(読(1)オ)	1	1 教材文を読み、気になったり興味をもったりした箇所に線を引く。 2 佐野藤右衛門(16代目)の生き方やものの見方・考え方について自分の考えをノートにまとめる。	【関】 人物の生き方に興味をもち、他の伝記作品への関心をもっている。 【読】 描かれている人物の生き方や考え方を捉えている。 【言】 語句の文脈上の意味を捉えている。 【評価材料】 ワークシート、定期テストなど
	行書の練習1 (教科書P30-31) ◎点画の方向や形の変化、連続のしかたを覚えて、その部分をもつ漢字を書くことができる。[伝国(2)イ, (1)ウ(イ)]	硬筆 2	1 点画の種類や組み合わせによる点画の方向や形の変化、連続のしかたのパターンを覚え、その点画を含む漢字を硬筆でなぞる。 2 行書には多様な書き方があることを確かめる。 3 設問②の空欄に当てはまる漢字を選び、点画の方向や形の変化、連続のしかたに注意して硬筆で書き込む。	【関】 点画の方向や形の変化、連続のしかたを覚え、他の漢字に生かそうとしている。 【知】 点画の種類や組み合わせによる方向や形の変化、連続のしかたのパターンを理解し、覚えている。 【知】 行書には多様な書き方があることを理解している。 【技】 点画の方向や形の変化、連続のしかたに注意して、その部分をもつさまざまな漢字を書いている。 【評価材料】 作品など
	書き初め 楷書・行書お手本 [伝国(2)ア, イ]	3	1 正しく、美しい字体を意識して、書き初めの練習をする。 2 用紙の大きさにふさわしい字の大きさや配置を考える。	【技】 書き初めの用紙の大きさにふさわしい字が書ける。 ・字形を整え、美しく、かつ力強く、勢いのある字が書ける。 【評価材料】 作品など
	7 自分を見つめて			
1月	少年の日の思い出 ◎場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。(読(1)ウ・エ) ◎文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。(読(1)オ)(伝国(1)イ(イ)(ウ))	7	1 情景や登場人物の気持ちを想像しながら、全文を通読する。 2 語り手の転換に注意しながら、全体を前半と後半の二つに分け構成を捉える。 3 「僕」と「エーミール」の関係を読み取り、最後の「僕」の行動の意味を考える。 4 作品をもう一度読み返し、「僕」のものの見方や考え方について、共感するところや疑問に思うところを話し合う。 5 学習を振り返る。 6 作品の読み取りを深めるために、主人公以外の人物の視点で作品を書き換える。	【関】 作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けようとしている。 【読】 場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。 【書】 別の人物を選び、その人物の気持ちや考えを物語の流れに沿って書き換えている。 【言】 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	言葉3 さまざまな表現技法 ◎言葉の並べ方の工夫や比喩(たとえ)について理解する。(伝国(1)イ(オ))	2	1 導入の例を読み、表現の違いによる印象の違いを挙げる。 2 「言葉の並べ方の工夫」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 ・例文を基にそれぞれの技法の特徴を理解する。 3 「比喩(たとえ)」を読み、それぞれの比喩による印象の違いや効果について考える。	【関】 さまざまな表現の工夫について理解しようとしている。 【言】 言葉の並べ方の工夫や比喩について、それぞれの表現上の特質などを理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
	漢字3 漢字の成り立ち ◎漢字の成り立ちについて理解する。(伝国(1)ウ(ウ))	2	1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。	【関】 漢字の成り立ちに関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。 【言】 漢字の成り立ちについて理解し、練習問題の漢字を分類している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
2月	印象深く思いを伝えよう 新入生へメッセージを書く ◎伝えたい自分の考えや気持ちを、相手や目的を考えながら書く。(書(1)ア・ウ) ◎文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。(書(1)エ)	5	1 相手意識・目的意識をもってメッセージの題材を選ぶ。 2 メッセージの内容と構成を考える。 3 表現の工夫を考える。 4 下書きし、推敲する。 5 清書をする。 6 メッセージを読み合い、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。	【関】 自分の考えや気持ちを、相手の目的に合ったメッセージになるように書こうとしている。 【書】 文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。 【言】 文章の構成や表現の工夫を考えて文章を書いている。 【評価材料】 ノート、発表など
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう ◎単語の分類について理解する。(伝国(1)イ(エ))	4	1 例題のカード並べを考え、単語の性質の違いに気づき、単語を分類していく観点があることを理解する。 2 p249文法3「単語の分類」を読み、自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について理解する。	【関】 単語の性質について関心をもち、単語の分類を理解しようとしている。 【言】 自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について整理し、理解している。 【評価資料】 ノート、定期テストなど
3月	一年間の学びを振り返ろう ◎伝えたいことを、効果的な図表を入れたポスターにまとめて、互いに読み合い、自分の表現に生かす。(書(1)ウ・オ) ◎学んだことの中から題材を選び、材料を集めながら考えをまとめ、整理してポスターを作る。(書(1)ア・イ)(伝国(1)イ(ウ)) ◎発表内容について、話の構成を工夫して話したり、他のグループの発表を聞いたりする。(話聞(1)ア・イ・エ)(伝国(1)イ(ウ))	6	1 ポスターセッションの方法と進め方を知る。 2 1年間の国語学習を振り返り、印象に残っているものを選ぶ。 3 同じ題材を選んだ者どうしてグループを作って話し合い、文章を分析する。 4 発表する内容を決め、材料を集める。 5 集めた材料を基に、ポスターにまとめる。 6 発表の準備と練習をする。 7 ポスターセッションを行う。 8 発表を振り返り、互いに感想を伝え合う。 9 学習を振り返る。	【関】 印象に残った題材をポスターにまとめて、協力して発表に取り組もうとしている。 【話聞】 話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表している。 【書】 1年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。 【言】 聞き手が興味をもつような言葉や構成を考え、ポスター作りに取り組んでいる。 【評価材料】 ノート、発表など
	ぼくがここに ◎文脈の中における語句の意味を捉え、表現の特徴について自分の考えをもつ。(読(1)ア・エ)	3	1 作者の思いを想像しながら詩を音読する。 2 詩の中で心に残ったこと言葉や表現を抜き出し、理由をまとめる。 3 表現されていることについてグループで交流し、互いの発表したことをメモする。 4 表現などを意識して詩を朗読する。 5 学習を振り返る。	【関】 作品の表現の特徴を捉え、朗読に生かそうとしている。 【読】 作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え、自分の考えをもっている。 【言】 語句や表現の効果や特徴に着目している。 【評価材料】 ノート、発表など